

# 社会参加推進センター会報

◆発行・編集  
〒732-0822

広島市障害者社会参加推進センター  
広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま5階  
広島市身体障害者福祉団体連合会内  
(TEL082-263-4524・FAX 082-263-9713)  
E-mail info@hiroshima-shishinren.or.jp  
ホームページ http://shishinren.com/

## 第26回広島市障害者水泳大会

### ～出場者募集～

水泳を通じて障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者に対する社会の理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として開催されます。また、本大会は、全国障害者スポーツ大会の広島市予選会を兼ねています。

- 1 対象：小学生以上の障害者〔身体障害者は手帳所持者(内部障害者は除く)〕
- 2 競技：障害別、年齢別、男女別に実施  
(1人2種目以内)
- 3 主催：広島市  
(主管：広島市障害者スポーツ協会)
- 4 種目：自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ
- 5 開催日時：令和5年2月5日(日)
  - (1) 身体・精神  
受付：9:30～10:30  
競技：11:20～12:30(予定)
  - (2) 知的  
受付：13:00～13:45  
競技：14:20～16:00(予定)
- 6 場所：広島市中心身障害者福祉センター  
(広島市東区光町2-1-5)
- 7 表彰：各種目・各競技区分の3位までメダルを授与、それ以外の選手は敢闘賞を授与
- 8 申込み：令和4年12月27日(火)〈必着〉までに、所定の申込書に必要事項を記入のうえ郵送・持参・FAXでお申し込みください。
- 9 申込先・お問合せ先  
広島市障害者スポーツ協会  
〒732-0052 広島市東区光町2-1-5  
TEL/FAX 263-3394

## 全国障害者スポーツ大会

令和4年10月29日に栃木県で初めて開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」は、3日間にわたり県内各地で熱戦が繰り広げられました。障害者スポーツ大会では初開催となったボッチャや精神障害の部の卓球などをはじめ計14競技が行われました。

広島市からは、41名の選手が個人、団体競技で出場し、様々な競技ですばらしい成績を収めました。陸上・水泳・卓球など6種目で金メダル7個、銀メダル5個、銅メダル9個、合わせて21個獲得し、大健闘しました。

来年の全国障害者スポーツ大会は、鹿児島県において「燃ゆる感動 かがしま大会」と題して開催されます。

## 第23回広島市障害者 フライングディスク大会

第23回広島市障害者フライングディスク大会が11月20日(日)に広島広域公園陸上競技場(エディオンスタジアム広島)で開催されました。

この大会は、フライングディスクを通じて体力の維持・増強、機能回復等を図り、社会参加を促進することを目的として行われています。また、本大会は、全国障害者スポーツ大会の広島市予選会を兼ねています。

開会式では下岡信明大会委員長の開会宣言に続き、幾田奉文審判長の競技上の注意の説明後、身体12名、精神3名、知的96名、計111名の選手たちは、雨天予報を覆し秋晴れで風の少ない絶好のコンディションの中、熱戦を繰り広げました。

最優秀記録は、アキュラシー競技の部ではディスリート5が10点1人、9点5人、ディスリート7が5点1人という成績でした。

ディスタンス競技の部ではメンズ・スタンディング 39m67 cm、メンズ・シッティング 18m56 cm レディース・スタンディング 28m18 cm、レディース・シッティング 10m57 cmでした。



大会競技中の様子



表彰式の様子

## 令和4年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）の実施について

この調査は、在宅障害児・者、難病等患者やこれまでの法制度では支援の対象とならないが長引く病気やけが等により生活のしづらさがある方を対象に、厚生労働省が行う国の調査です。

調査へのご協力をお願いいたします。

【調査対象地区】（全国約5,363の国勢調査区）

広島市では54地区が対象です。

【調査対象者】

調査対象地区に居住する、以下に該当する方  
・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

- ・難病と診断されたことがある方
- ・上記に該当しないが、発達障害のある方、慢性疾患などの長引く病気やけが等により日常生活のしづらさが生じている方。

### 【調査事項】

- (1) 調査対象者の基本的属性に関する調査項目  
年齢、性別、障害の原因、住居、就労・就学の状況等
- (2) 現在利用しているサービスと今後利用を希望するサービス  
障害福祉サービス等の利用状況、利用の希望等

### 【調査の方法・期間】

調査員証を身につけた調査員が、12月1日から12月26日までの間に調査対象地区のお宅にお伺いし、調査の趣旨の説明、調査対象となるかの確認、調査対象者への調査票の配付を行います。

記入していただいた調査票は、郵送による回収となります。調査員が回収に伺うことはありません。

調査票の記入、提出は任意ですので、ご回答いただけない場合でも不利益は生じません。

なお、必要に応じて、適切な記入の支援を実施します。

- ・視覚障害者の方で本人が希望する場合、点字版の調査票を配付
- ・聴覚・言語・音声機能障害者の方で本人が希望する場合は、手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ・盲ろう者の方で本人が希望する場合、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣
- ・障害の状況により本人が記入できない場合、本人の希望に応じて、代筆

また、事前に配布する「生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）実施のお知らせ」を見て、訪問を拒否することもできます。

〈お問合せ先〉

広島市健康福祉局 障害福祉部 障害福祉課  
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号  
Tel : 082-504-2147 Fax : 082-504-2256  
Email : shougai@city.hiroshima.lg.jp